

2024 年 2 月 4 日

主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒355 番（旧 304 番）（KH 姉）

『主はいのちを』

聖書⇒詩編 121 編（MK 姉）

『目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。わたしの助けはどこから来るのか。

わたしの助けは来る／天地を造られた主のもとから。

どうか、主があなたを助けて／足がよろめかないようにし／まどろむことなく見守ってくださるように。

見よ、イスラエルを見守る方は／まどろむことなく、眠ることもない。

主はあなたを見守る方／あなたを覆う陰、あなたの右にいます方。

昼、太陽はあなたを撃つことがなく／夜、月もあなたを撃つことがない。

主がすべての災いを遠ざけて／あなたを見守り／あなたの魂を見守ってくださるように。

あなたの出で立つのも帰るのも／主が見守ってくださるように。今も、そしてとこしえに。』

礼拝讃美歌⇒313 番（旧 84 番）

『主に頼る者は』

聖書⇒ホセア書 11:3~4 節（ES 姉）

『エフライムの腕を支えて／歩くことを教えたのは、わたしだ。

しかし、わたしが彼らをいやしたことを／彼らは知らなかった。

わたしは人間の綱、愛のきずなで彼らを導き／

彼らの顎から軛を取り去り／身をかがめて食べさせた。』

聖書⇒ヨハネによる福音書 8:6~8 節

『イエスを試して、訴える口実を得るために、こう言ったのである。イエスはかがみ込み、指で地面に何か書き始められた。しかし、彼らがしつこく問い続けるので、イエスは身を起こして言われた。

「あなたたちの中で罪を犯したことのない者が、まず、この女に石を投げなさい。」

そしてまた、身をかがめて地面に書き続けられた。』

(祈)

礼拝讃美歌⇒356 番 (KH 兄)

『イエスの愛にこたえ行く』

《パン裂き》

聖書⇒マタイによる福音書 26:26~29 節 (KH 兄)

『一同が食事をしているとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱えて、それを裂き、弟子たちに与えながら言われた。「取って食べなさい。これはわたしの体である。」また、杯を取り、感謝の祈りを唱え、彼らに渡して言われた。「皆、この杯から飲みなさい。これは、罪が赦されるように、多くの人のために流されるわたしの血、契約の血である。言っておくが、わたしの父の国であなたがたと共に新たに飲むその日まで、今後ぶどうの実から作ったものを飲むことは決してあるまい。』

(式)

礼拝讃美歌⇒146 番 (旧 61 番)

『小羊の血にて』

《建徳》

聖書⇒コリントの信徒への手紙二 12:7b~10 節 (TM 兄)

『それで、そのために思い上がることのないようにと、わたしの身に一つのとげが与えられました。それは、思い上がらないように、わたしを痛めつけるために、サタンから送られた使いです。この使いについて、離れ去らせてくださるように、わたしは三度主に願いました。すると主は、「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」と言われました。だから、キリストの力がわたしの内に宿るように、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。それゆえ、わたしは弱さ、侮辱、窮乏、迫害、そして行き詰まりの状態にあっても、キリストのために満足しています。なぜなら、わたしは弱いときにこそ強いからです。』

聖書⇒ローマの信徒への手紙 3:9~11 節

『では、どうなのか。わたしたちには優れた点があるのでしょうか。全くありません。既に指摘したように、ユダヤ人もギリシア人も皆、罪の下にあるのです。次のように書いてあるとおりです。「正しい者はいない。

一人もいない。悟る者もなく、／神を探し求める者もない。』

聖書⇒コリントの信徒への手紙二 4:6~9 節

『「闇から光が輝き出よ」と命じられた神は、わたしたちの心の内に輝いて、イエス・キリストの御顔に輝く神の栄光を悟る光を与えてくださいました。ところで、わたしたちは、このような宝を土の器に納めています。この並外れて偉大な力が神のものであって、わたしたちから出たものでないことが明らかになるために。わたしたちは、四方から苦しめられても行き詰まらず、途方に暮れても失望せず、虐げられても見捨てられず、打ち倒されても滅ぼされない。』

聖書⇒ルカによる福音書 22:42 節

『「父よ、御心なら、この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしの願いではなく、御心のままに行ってください。」』

聖書⇒ペトロの手紙一 1:1~3 節 (KH 兄)

『イエス・キリストの使徒ペトロから、ポントス、ガラテヤ、カパドキア、アジア、ビティニアの各地に離散して仮住まいをしている選ばれた人たちへ。あなたがたは、父である神があらかじめ立てられた御計画に基づいて、“霊”によって聖なる者とされ、イエス・キリストに従い、また、その血を注ぎかけていただくために選ばれたのです。恵みと平和が、あなたがたにますます豊かに与えられるように。わたしたちの主イエス・キリストの父である神が、ほめたたえられますように。神は豊かな憐れみにより、わたしたちを新たに生まれさせ、死者の中からのイエス・キリストの復活によって、生き生きとした希望を与え…』

聖書⇒ヤコブの手紙 1:1 節

『神と主イエス・キリストの僕であるヤコブが、離散している十二部族の人たちに挨拶いたします。』

聖書⇒ユダの手紙 1 節

『イエス・キリストの僕で、ヤコブの兄弟であるユダから、父である神に愛され、イエス・キリストに守られている召された人たちへ。』

礼拝讃美歌⇒1 番 (旧 4 番) (KH 兄)

『父なる御神よ』

《建徳要旨》